

第 58 号

平成 25 年

9 月

HP に創刊号から
連載中

もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意
深く徐々に試してください。

山田整骨院

熊本市中央区出水 4-25-1

096-364-7611

<http://yamadasu.com/>

熊本交通事故, 山田整骨院 検索

<http://www.jiko-kumamoto.net>

丈夫な子を育てるために (つづき)

医学博士 梶尾太郎

昭和 52 年 4 月号

月刊西医学

西式出産法

妊娠も出産も生理的現象であって病気ではないから、気にする必要がない…略…西式
出産法 (卵円孔の閉鎖と胎便排除) を行うには自宅でやることと助産婦の理解と協力を
得ておくことが必要になる。…略…妊娠中、西式生活を守っていれば、安産はまちがい
ないのである…略…。いよいよ陣痛が始まれば、産室に入って静かにしている。スイマ
グや柿茶を飲み、できれば浣腸して、便を出しておく方がよい。陣痛の間隔は段々短く
なり、痛みの強さも長さも増大してくるが、事更にきばらない方がよい。早くから力み
過ぎると、疲労してしまって本番の時に力が出ない。合蹠したまま、寝ているくらいで
いい。万一、逆児であっても、オリーブ油を塗って、元へもどし、金魚運動と合掌合蹠
を繰り返すと頭からでてくる。陣痛を強めるには仰臥して両膝を立て、補助者に両膝を
外側から抑えてもらい、それに逆らって開くこと、それと反対に両膝を開き、補助者に
内側から抑えてもらい、それに逆らって閉じる運動を各 20 回位行う。これは妊娠中か
ら行うと実に有効である。…略…産まれたら…略…平床の上にタオル 1 枚くらい敷いて
新生児を寝かせておく。…略…新生児は 1 時間 40 分裸でいても平気である。そうして左
右の心房を連絡している卵円孔を閉鎖させる。肺を通らぬ胎児循環から、肺を通る成体
循環に切り換えるのに 1 時間 40 分かかる。卵円孔が開いていると、胆汁を含んだ血液
が、右心房から直接左心房に流れ、肺で酸化されないのが、新生児黄疸を起こすのであ
る。…略… 1 時間 40 分裸で放置する間は、お尻の下はチリ紙を敷いておくと、黒くネッ
トリした胎便がたくさんでる。…略…

産湯とその処置

産湯はまず 40 度の湯の中でよく洗い、次に温冷浴を行う。

第 1 回 40 度の湯の中で温め、よく洗う、第 2 回 30 度の水に 1 分間つける、第 3 回 40
度の湯に 1 分間つける、第 4 回 28 度の水に 1 分間つける、第 5 回 40 度の湯に 1 分間
つける、第 6 回 25 度の水に 1 分間つける、次に体をよく拭いて産着を着せる。

…略… 第2日、第3日と時々水の温度を下げ、20度位にし、湯は40度で続けることになっている。…略… 生後48時間は乳を飲ませないで胎便を完全に排泄するようにする。胎便（カニババ）が完全に出れば、心身の発育は非常によくなる。…略…

授乳と育児

最初の乳は卵乳といって脂肪を含んでいる。これも自然の下剤であるから捨てないで飲ませるのがよい。母乳にまさるものはないのだから、なるべく人工栄養に頼らない方がよい。乳の質が悪いと、子供は吐く。その原因はたいてい母親の便秘である。母親は生水、生野菜、柿茶、スイマグなどを充分摂る必要がある。…略…どうしても母乳が出ないときは人工栄養に頼らざるを得ない…略…生野菜汁と玄米粉のオモユがよい。…略…おしめはぬれたままにせず、汚れたらすぐこまめに取り換えること。…略…おしめを換えるときに両足をもち上げて微動し、毛管運動をやってやると、足の発育がよくなる。腰を左右から押さえて、左右に細かく動かす腰金魚を適時行くと、便通も軽い、脊柱の狂いもなくなる。乳児は頭が大きいのであるから、枕をさせないこと。タオルを折って頭の下に敷くとよい。抱かないで育て、やむをえず抱くときは水平にして抱く。歯がはえるまでは流動食にし、歯が生えたらオジヤとかパンとか、生野菜のすりつぶしや野菜を煮てつぶしたようなものを与える。卵と白砂糖はなるべく避けること。歩行器や手を持って歩かせることは絶対に避けること。早くから靴をはかせず、できるだけはだしで外を歩かせること。薄着の習慣をつけ、汗をかかさぬように注意することと、手足が自由に動かせるようにしておくのが育児の秘訣である。なお、てんか粉を皮膚につけると、毛孔や汗の孔を塞ぐのでよくない。スイマグの原液をつけるとよい。

解 説

先日、知り合いの娘さんが出産されました。母親の方は西式健康法に詳しく、当院からも種々資料を提供し、病院内ではあったのですけれども、ほぼ西式の出産が出来ました。産まれてすぐ裸で1時間40分過させ、卵円孔を閉鎖し胎便を排泄しました。胎便の写真を撮られていて見せて頂きました。見事に真黒で量も多く、これが身体に残るのか、出て行くのかで体調は大いに影響を受けると実感しました。胎便が出たせいか、お孫さんはいつも大変機嫌がいいそうです。近々facebookページ、熊本西医学研究所を開設する予定ですので、そこに写真を載せたいと思っています。（プライバシーは守ります）

肺の手術で肋骨6本をとった55歳の父親と、2度流産した44歳の母親から生野菜食療法のおかげでりっぱな赤ちゃんが産まれています。この写真もいずれ公表したいと思っています。西医学では妊娠と出産の研究が長年行われており、貴重な資料や実績がありますので、おいおいお伝えしていきたいと思っています。